消 費 生 活 情 報

～何気ない会話から漏れる情報～

消費生活相談員は、世話やきセミナーで「教えちゃダメです、ひとりである事」という朗読劇をさせて頂く事があります。

何気ないありふれた会話のなかから、どんな個人情報が相手に渡ってしまうのかを確認するきっかけになればと考えています。

.....

電話をしている人は、ハナさん。(もともと話好きで、誰とでもすぐに打ち解ける人)何かの勧誘電話が来て、話をしている様子です。

「そうそう、何だかお宅の会社の売り出しの広告なんか入っていたけどね。息子も嫁も仕事だし、孫は中学校よ。私一人で日中留守番しているから、行けないのよ。私？80歳越しているけど、ひざが痛いくらいで元気よ。自分の事は、まだまだちゃんとできているわよ。」

.....

本当にごくありふれた、身近な会話です。

でも、この短い会話から家族構成、孫が中学生、親の年代、年収も推察されます。日中高齢者がひとりである事も、相手に知られてしまいます。個人情報、生年月日や名前だけではありません。

自分の大切な家族の情報を、見知らぬ他人に与えてしまう事になります。

勧誘電話の相手は、信用できる人でしょうか。

この相手が、もしかしたらオレオレ詐欺グループ、悪質業者などだったらどうでしょうか。

疑えばきりが無い、あるいは、問題の種をまく必要はない。

あなたの考えはどちらになりますか。

～お買い物や契約で、心配なときや困ったときは相談窓口へ～

■問・相談先 市役所本庁舎1階 市民生活課消費生活相談窓口
月・水・金曜日(祝日を除く)9時～15時 ☎82-1111 内線 1294